

1998年  
4月号

No.300



発行 瓢箪町公民館  
金沢市彦三町2丁目10-5  
TEL 221-1476番  
FAX 221-1476番  
TEL 223-0715番  
編集 公民館広報部



第35回『金沢市公民館大会』  
楽集 公民館フェア



金沢市公民館大会は2月28日・3月1日の両日金沢市文化ホールにて開催されました。各地域の公民館で生涯学習で学ばれた、創作活動・芸能・コーラスなど一同強調連携を深める目的でした。

瓢箪町公民館はアートのぶどう・端布の人形・習字教室の作品など・所せましと出品いたしました。また、28日は、永年役員勤続表彰があり10名の方々が受けられました。おめでとうございます。

30年勤続 若林 繁氏(彦三・5上)	15年勤続 大村 昭夫氏(岩根東)
25年勤続 堀部 泰資氏(彦三・2上)	10年勤続 中西 忠男氏(あげば会)
20年勤続 小原 英一氏(彦三・6)	10年勤続 竹内 光子氏(岩根中)
20年勤続 桶 良之助氏(塩屋中)	10年勤続 松本 三郎氏(岩根西)
20年勤続 石丸 幹夫氏(彦三・7)	10年勤続 松原 弘氏(彦三・6)

今後とも 活躍をご期待いたします。

すずらん学級  
閉 級 式



女性学級〔すずらん学級〕の閉級式を2月26日午後1時より東山鈴庵にて開催致しました。多数の参加で今年の活動状況についての反省会となりました。第1回千木の里の高齢者にたいするバリヤフリー施設研修・かわいいスワンづくり・本格的なピザづくり・アートぶどうづくりと豊富な活動で意義のある内容と評されました。受講生が自ら講師を勤め才能を發揮され手を取って教えて頂けた講座もあり親近感を楽しい講座でした。

最後の閉級式では麩の栄養素・料理方法など講習会も兼ね、また、学級長のあでやかな姿で、1人1人に1句読み上げながら記念品を渡され和気あいあいのうち幕を閉じました。

## 瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

### 18. 惣構の城と内外惣構堀

#### (3) 東西外惣構堀

慶長15年（1610）幕府は名古屋城構築に際し、全国の大名に助役を申し付けた。三代藩主利常も助役に参加した時、金沢城の留守居役、篠原出羽守一孝に外惣構堀を構築するよう命じた。これが東西外惣構堀である。

東外惣構堀は、小立野天徳院、如来寺、経王寺辺りから宝円寺横の渓間を通り、東兼六町と扇町の境界に沿って常福寺裏より敬愛病院駐車場横、兼六元町と材木町の境界を通り、橋場町シティモンドホテル裏より北陸銀行橋場支店裏を流れ、小鳥屋橋を経て浅野川大橋の70メートル程上の浅野川に流れこんでいる。

西外惣構堀は、旧本多邸の崖下（社会教育センター裏）より柿木畠の金沢市役所裏より香林坊橋、109の裏を通り中央小学校前、市立図書館前、安江町交差点を横切り東別院西門前を通り、林屋茶店横より安江北交差点を渡り、明成小学校前を道路に沿って流れ、瓢箪町24番の地内で彦三大通の十字路の下をくぐり、小橋横の岩根町児童遊園地より浅野川に流れている。

この惣構は、瓢箪地区のど真中を通っているのである。今では明成小学校前などは、側溝のようになってしまい見る影もないが、近年まではこの辺りを堀端<sup>ほりばた</sup>と呼んでいたのは惣構堀の名残りである。

関ヶ原の役後、慶長8年（1603）徳川家康は征夷大將軍となり、天下の体制は徳川家に移ったように見えた。このような時になぜ外惣構堀を作らねばならなかったのだろうか。それは、慶長19、20年（1614～1615）大阪の陣が起きたように、未だ不安定要素があったことと城下町が拡大したことであろう。

前田利家が、天正11年（1583）河北、石川、能登国の約45万石（推定）の領主となり、天正

13年（1585）佐々成政討伐後約90万石（推定）、慶長5年（1600）関ヶ原の役の功により120万石の大大名になるまでの17年間で3倍弱の急成長を遂げている。それに伴い、当然家臣団の数も急増した。「石川県の歴史」（北国出版）にも、慶長末期に直臣600人足らずの数が、寛永初期には1,300人を越えたと書いてあり、それに陪臣を加えると6,7万人の大世帯になったと言われている。

加賀藩の特色は、家臣に知行所を細かく分け与え、加越能三国に分散させ、郷士を置かず、地方役人の他は全て金沢に集め、知行地との関係を絶つような政策を進めている。これが城下町の膨張につながり、内惣構の機能が失われ、外惣構の構築をして防禦線を広げざるを得なくなったのが実情であった。

一次号につづく一

## 公民館だより〔ひょうたん〕 300号発刊を達成

昭和47年6月、地域の皆さんへのお知らせ、公民館へのご希望と、あなたのお声をお待ちしていますと呼びかけた、第1号だよりが発刊されその後地域の多くの方々のご支援により300号をお手元にお届けすることが出来ました。

改めて、お礼を申し上げます。

既存の「ひょうたん」を閲覧するに当時の地域の背景や地域で活躍された懐かしいお顔が思い出されます。

公民館も平成11年には創立50周年を迎えることとなります。また21世紀への架け橋の節目でもあり地域に密着した事業を考え検討・準備を進めております。今後も「公民館だより」の継続発行と50周年記念行事の実施について、ご指導・ご協力下さるようよろしくお願ひいたします。

（広報委員会）

1998年  
5月号

No.301



発行 瓢箪町公民館  
金沢市彦三町2丁目10-5  
TEL 221-1476番  
FAX 221-1476番  
TEL 223-0715番  
編集 公民館広報部

## 瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

### 18. 惣構の城と内外惣構堀

(3) 東西外惣構堀 —前号のつづき—

慶長16年（1611）東西外惣構堀ができると、侍屋敷について次のように御定が出ていた。

（国事雑抄）

一、今度高岡衆（高岡へ随行していた利長の

家臣）へ渡した家来の下屋敷は替地として惣構の外へ与える。

一、惣構内の侍屋敷の内に寺庵、諸職人を住まわせてはいけない。

一、惣構土居内側の道は2間明けること。

一、惣構外の下屋敷迄出入する道筋を見届けておくこと。

一、奉行の指図なしに従来ある道をふさいだ

り、明けたり、土居の土を取ってはならぬ。この御定から、外惣構の構築間もない惣構の戦略上の気遣いをしていたことが伺われる。

大阪の役（1615）後、天下統一になると幕府は一国一城令や武家諸法度により親藩、譜代、外様を問わず厳しい統制を加えるようになると、惣構の重要性も徐々に失われていった。

寛永8年（1631）俗に言う宝船寺焼けの大火で、城の本丸まで焼落ちること自体不名誉なこ

とであった。その後寛永12年（1635）の大火より安政6年（1859）までの224年間に、52回の大火灾（100軒以上の火災）があったと言われている（城下町金沢=田中善男著）。これは金沢だけではなく江戸においても同様で、火事と喧嘩は江戸の華と言われたように、城下町の膨張と過密化による自然の成り行きであったのかもしれない。

慶安2年（1649）の御定書（加賀藩資料）では

一、惣構の竹木を切ってはならぬ。

一、惣構の土居上に道を付けてはならぬ。

一、惣構の竹の子を取ってはならぬ。

一、堀へ塵芥やむさくるしい物を捨ててはならぬ。

一、堀の土を使う場合は必ず係の役人に断わること。

などの事柄を記している。

外惣構構築後38年間の年月を経て平和が続くと、土居を勝手に道にしたり、ごみを捨てたりする不届者が現われたものと思われる。戦国の世なら打首に価するものである。

幕藩体制が確立され、加賀藩も幕府の従臣としての立場が明瞭になるにつれて、惣構に対する意識も希薄になってきたものと思われる。

## ☆ 新一年生 ☆

おめでとう！ 25名の子供は4月から明成小学校へ通い元気に学校生活をエンジョイしています。新一年生の喜びの一言です。

児童氏名	町名
川口 理恵	横安江町
北島利起弘	笠市町
北山 仁子	彦三1番丁南
酒井 勝規	別院通り
高松 裕也	岩根西
多田 正雪	彦三2番丁上
中川 穂高	岩根西
中村 文月	母衣町
西野 史香	五宝町下
野口真里菜	岩根町下
藤井 茉子	彦三5番丁中
市川 温子	彦三6番丁
伊藤 美沙	彦三2番丁上
川端 契太	象眼町下
小森美沙子	彦三5番丁中
芝垣 美希	象眼町上
清水 翔平	彦三4番丁
高桑 麻衣	彦三7番丁
竹内 久恵	彦三2番丁上
徳川 翔吾	彦三4番丁
中山由美子	彦三1番丁南
細川 陽平	彦三6番丁
堀部 昌志	彦三2番丁上
水野 想	五宝町下
村中 沙妃	彦三1番丁南



地域の皆様「おはよう」の言葉をかけて下さいね。

## 5月の行事日程

## ☆ファミリーハイキング

日 時 5月17日(日)

午前8時30分集合 公民館前 9時出発 →  
緑地公園(彦三町) → 中の橋(渡る) → 卯辰神社  
→ 菖蒲園 → 扇ヶ丘(卯辰山) 現地2:00出発  
→ 馬場小学校 → 東部児童公園解散 3:00(予定)

申し込み 飴箪町公民館 221-1476  
瓢箪児童館 221-1518 へ

会費なし、昼食、メッタ汁を用意します

ゲーム、宝さがしなど……

どなたでも参加して楽しく遊びましょう！

## ☆グラウンド・ゴルフ会員募集

身心共にきたえ、技術向上をめざして月1回練習を行なっています。

興味のある方、入会おすすめ致します。

詳細は公民館へ

## ☆高野山・明石大橋と関空見学

日 時 7月2・3日(木・金)

参加費 33,000円

詳細は公民館へ

老人憩いの家主催

1998年  
6月号  
No.302



発行 瓢箪町公民館  
金沢市彦三町2丁目10-5  
TEL 221-1476番  
FAX 221-1476番  
TEL 223-0715番  
編集 公民館広報部

## 平成10年度 公民館委員総会

去る4月28日、瓢箪文化会館にて、平成10年度の公民館委員総会が開かれました。

席上、挨拶に立った小原館長は、「金沢の地区公民館は、『金沢方式』と呼ばれる全国でも特色ある運営方式をとっており、地域の生涯学習の場として、極めて充実した活動を展開している。特に数年前から隣区の此花公民館と密接な連携を取りながら、共に地域の皆様が、こぞって参加、活動しやすい公民館作りを目指している。」と述べた。

その後、議事にはいり、事業計画や財政予算書などが報告され、すべての議事が満場一致で了承されました。

さあ、地域の皆様、年間行事(予定)も決まりました。温かい御協力をお願い致します。われわれ公民館委員も全員一丸となってダッシュ、ダッシュ!!

### ●平成10年度 公民館事業計画

5月17日(日) ハイキング	9月27日(日) ウォークラリー
31日(日) ブロック ソフトボール大会	10月4日(日) 社会体育大会
6月5日(金) 美化研修会(町主)	18日(日) ブロック グラウンドゴルフ大会
13日(土) 百万石提灯行列(少連主)	20日(火) 第4回女性学級講座
17日(水) 女性学級開講	25日(日) 公民館委員研修会
21日(日) ブロック バドミントン大会	31日(土) 文化祭
28日(日) 歴史散歩 金澤城址	11月1日(日) 文化祭
7月3日(金) 第2回女性学級講座	8日(日) 中国講座
5日(日) グラウンドゴルフ大会	11日(水) 葬祭講座
7日(火) 青少年育成会議	12月6日(日) ボーリング大会
11日(土) 蛍観賞	1月15日(金) 成人式
28日(日) 男性料理研修会(町主)	23日(土) 女性学級閉級式
8月1日(土) 一斉ラジオ体操	24日(日) 獅子舞い初稽古(獅保主)
9月1日(火) 第3回女性学級講座	2月7日(日) 麻雀大会
13日(日) 日帰りバス研修会	14日(日) 立志の集い
15日(火) 獅子舞い披露(獅保主)	21日(日) ソフトバレー大会

## 平成10年度 公民館運営審議会委員名簿

1号委員	戸田 教一	2号委員	中島 光春
2号委員 委員長	今井 義明	"	涌波 秀博
"	中村 正一	"	西川 寛
"	大村 昭男	学識経験者	中谷 弘
"	宮岸 敬治	"	堀部 泰資
"	田中 良	"	松本 三郎
"	大友 哲	"	石丸 幹夫

## 平成10年度 瓢箪地区各種団体長名簿（順不同）

町会連合会長	今井 義明	明成小学校長	戸田 教一
公民館長	小原 英一	消防分団長	宮岸 敬治
児童館長	大村 昭男	民生委員協議会総務	涌波 秀博
社会福祉協議会長	中村 正一	防犯交通委員長	中島 光春
育友会長	大友 哲	少年連盟育成委員長	西川 寛
老人憩いの家室長	田中 良	街頭交通推進隊長	三上 正道

## 平成10年度 瓢箪地区町会長名簿

あ岩岩岩岩塩塩塩五五五古堀笠象象巴横彦彦彦彦彦彦彦彦彦彦彦北南母 町  
 げ根 宝 宝 飼 川 眼 眼 安 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三  
 ば下 根 根 根 屋 屋 • • 宝 間 市 町 町 江 • • 5 5 5 • 2 2  
 会 1 中 西 東 下 中 上 下 2 1 上 町 町 町 下 上 町 町 8 7 6 下 中 上 4 3 下 上 会 会 町 名

山堀奥芝大東後斎一中大三福池今東直前吉谷吉岩大山若沢安辰吉西宮中  
 本 木村 川田谷村丸美光田井 江川川 村倉友本林井田村田村崎村  
 清知久善昭富一哲耕正勝瑛省伸義良憲信 一 晶 義政茂 尚卓  
 昭章雄市男雄洋夫二一雄舜三雄明秀三次浩則武玲雄進繁雄昭雄豊章樹夫

## 平成10年度 瓢箪町公民館委員名簿

館 長	小 原 英 一						
副 館 長	宮 坂 清						
総務部長	松 井 良 憲						
副部長	三田村 英 明	(企画調整担当)	桶 良之助	若 林 繁			
部 員	小 森 博 信	江 川 喜 洋	中 村 正 治	竹 内 光 子			
	久 田 兼 三						
広報部長	津 田 正 浩						
副部長	秋 野 富 子						
部 員	林 一 茂	村 田 潔	梅 田 道 子	林 由紀子			
	宇 野 澄 枝	小 松 由 美 子					
教養部長	諸 江 敏 博						
副部長	松 原 弘						
部 員	池 田 洋 一	中 村 貞 夫	清 水 洋 治	岸 美和子			
	棚 池 淑 子	高 屋 則 子					
体育部長	西 川 寛						
副部長	安 田 恒 夫	音 頭 栄 美 子					
体育指導員	永 井 外 志 明	(副部長兼務)					
部 員	島 田 清	絹 川 善 明	池 村 宗 一	舟 橋 靖 夫			
	中 田 邦 彦	北 幸 夫	諸 江 泰 彦	岡 田 陽 一			
	福 井 淳 一	本 多 朝 光	杉 野 浩	片 山 正			
	辰 橋 栄 子	辰 村 ゆかり					
視聴覚部長	米 田 章 一 郎						
副部長	増 村 秀 雄						
部 員	中 西 忠 男	近 藤 三 朗					
青少年部長	高 木 茂 雄						
副部長	吉 藤 千 枝 子						
部 員	横 井 重 男	熊 橋 裕 人	柿 本 尚 之	山 下 正 巳			
	北 秀 一	吉 藤 久 弥	本 信 子	堀 純 子			
	井 波 静 子						
事 務 局							
主 事	山 下 辰 枝						
事務員	野 里 知 昭						
管理人	森 ス ミ						

## 瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

### 18. 惣構の城と内外惣構堀

#### (4) 金沢城と惣構の防禦

寛永8年(1631)金沢城大火の見舞に幕府より徳山五兵衛、桑山左衛門を上使として遣わされた。利常が上使を城内へ案内した時、徳山五兵衛は「此の城は昔佐久間盛政がしばらく在城し利家公が築いた城であるが、あの茶臼山(卯辰山)の目下にあり殊に小立野も城のために良くない。上口より五千、下口より五千程の兵があれば余り手間掛けずに……」と豪語した。(加賀藩資料)

金沢城の弱点を補うために利家、利長、利常の三代にわたって腐心した城であり、利常は心中憤怒したに違いない。

さらに、徳山五兵衛の父は、蟻ヶ岳の合戦で佐久間盛政の先鋒として参戦し敗れて逃げ帰り秀吉に降伏し、利家の情で前田家の家臣に取り立てられたが、利家の死去の翌日出奔し、徳川家康の元へ駆け込み、子孫は幕臣として世襲していたのである。徳山五兵衛は、前田家を裏切った男の息子であった。利常は、表面平然としながらも必死に耐えた気持ちが伝わってくるようである。

天正5年(1577)9月上杉謙信は3万の軍勢を率いて加賀に進攻した時、卯辰山に着目し、形状を見て臥竜山と名付け本陣を構えた。(加賀志微)

「金沢城の価値及び防衛」(陸軍将校研究資料)、「金沢城地の防備」(金沢小史 和田文次郎編)などで次のように記述している。

甚右衛門坂方面の弱点(黒門一尾崎神社一甚右衛門坂一金沢商工会議所の間)に対し、万一の場合は直ちに大濠を掘開する計画であった。又城外に於いては諸隊の出撃拠点として、東惣構堀の起点である天徳院、如来寺、宝円寺辺りに取出しを築き、更に卯辰山は城を見下ろせることから、竹木を植えたり、幕張り、鉄砲を放つことなどを禁じている。攻撃側に占拠されることを気遣っての処置であった。(東惣構堀は卯辰山に対する防禦のためである。)

城下町には西惣構堀など犀川の水を用水として取り入れ、道路を複雑にし迷路を作り障害にしたり、惣構堀内外の重要拠点には重臣の屋敷を配置している。

徳山五兵衛、上杉謙信の攻める側と陸軍将校研究資料、金沢小史の守る側共に金沢城の弱点を大筋において共通した捉え方をしているのである。

一次号につづく一

## 「ファミリーハイキング」

昨夜からの心配された雨もすっかりやんで、からりと晴れた5月17日(日)、総勢49名の参加者は、館長の挨拶の後、午前9時に元気良く出発した。最初に休憩した彦三緑地では一週間前まで咲いていたツツジの花もすっかり花を落とし、花菖蒲園では開花前で、本当に残念でした。

それでも現地の扇ヶ丘についてからは、子供達は、まぶしいくらいの太陽の下で、新聞紙を丸めて作ったバットとボールで野球をしたり、一方では大縄跳びをしたり、思い思いに運動に興じていました。そしてカードを探してお集いをもらった後、お屋には具だくさんのおいしいメッタ汁で、お腹がいっぱいになりました。帰りも皆元気に歩き東部児童公園で解散しました。交通推進隊のお二人、そして役員の皆さん、本当にどうも御苦労様でした。



### 6月行事日程

#### ★6月5日(金)

園芸と環境について(町主)

午後7時より 公民館にて

#### ★6月6日(土)

高齢者交通安全講習会(老主)

午前10時より 公民館にて

#### ★6月17日(水)

女性学級開級式

午後7時30分より 公民館にて

#### ★6月28日(日)

歴史散歩

詳細は回覧にて

1998年  
7月号

No.303



発行 瓢箪町公民館  
金沢市彦三町2丁目10-5  
TEL 221-1476番  
FAX 221-1476番  
TEL 223-0715番  
編集 公民館広報部

## 瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

### 18. 惣構の城と内外惣構堀

#### ④ 金沢城と惣構の防禦 一前号のつづき一

金沢城惣構の規模については、(2)東西内惣構堀の項で説明した通りかなりのものであった。

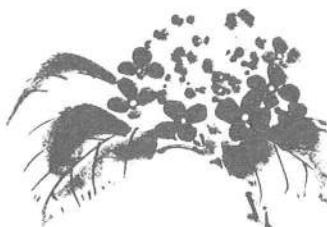
構築後400年を経過した今、戦国の頃の惣構堀を推定するのは甚だ困難であるが、当時の槍隊の槍の総長は通常3間であったので、槍合せをするには5間(9メートル)の間隔を要したと言われているから、堀巾は5間以上必要であろう。

現在の惣構を見ると、両岸に石垣を積んであるので美しい景観だが、当時は土剥き出しの土居であった。金沢古蹟志には、土居上に竹藪や雑木林を配置していたと書いてあるが、惣構構築時には無かったもので、後日土居の崩れを防ぐために植えたものであった。万一の場合の防禦にも役立つよう竹木を植えたものと推測できる。

竹藪の場合は、戦いになると竹を斜めに切り落し、虎落(斜めに切った竹を無数に植え込み

攻め手の足を突き刺す)に使用するためと考えられる。

竹は万一の場合矢として使うと言う説があるが疑問である。矢は正確に目標物に当てなければ此方が命を失う場合があるから、使用する竹は厳選されたものでなければならない。矢は太古の頃より矢作(やはぎ)と言う職人によって作られてきたもので、現在も野々市に矢作と言う地名があり、藩政時代、籠奉行が押野、野々市など石川、能美郡の特定の村に籠(矢竹)を持ち寄るよう申し付けている。現在の矢木、上荒屋(矢木荒屋)などは矢竹の栽培地から発生した地名と思われることから、惣構堀の竹藪は矢竹として使用されたとは考えにくい。また、雑木林は刺のある木をできるだけ植え、古代の戦記にも出てくるさかもぎ(木を切り倒し堀に向かって逆木にして積み上げる)として使用できるように深慮されたものであろう。



## 5/31 中央ブロック 「ソフトボール大会」報告

今回は役員チームを含めて10チームの参加がありました。第一試合は芳賀Bチームとの猛打合戦でした。第二試合は長土壟チームとの若さとの戦いでした。全体を通じての印象は久々に打線が爆発、ファインプレイも随所にみられるという中身の濃い内容でした。青空のもと太陽エネルギーを充分吸収できた一日でした。参加ご協力いただきました選手の皆様、ありがとうございました。

選手は、以下の方々です。

小原館長、宮坂副館長、西川体育部長、永井副部長、寺林、高柳、川端、北風、熊田、吉村(兄)、吉村(弟)、北(兄)、北(弟)

敬称略



ホームへ突入！

## 「園芸と環境」講座

6月5日(金)、公民館にて「園芸と環境」についての講座を開催致しました。

松下ガーディング社長「松下良先生」により最近流行の「ガーディング」について、デージー、すみれ、マーガレットなどの寄せ植え・電照飼育される為、お花を見ても四季感覚かうすらいでしまう。また、大切なあまりに肥料のやりすぎ、水のやりすぎでお花を傷めてしまう事があるので考慮するようにと、適切なアドバイスがありました。また、緑が少なくダイオキシン多発に人体などにも悪影響があり、環境の変化によって悪質な事件が多発していると言える。

最近「およばれ」と言われる伝統文化が無くなり、これも核家族が多くなったからでしょう……など、ユーモアをまじえながら楽しく話されました。



熱心に聞きいる受講生たち

## 7月行事日程

- ☆7月2日(木) 女性学級  
「世界ガラス美術館」見学
- ☆7月5日(日) G・G大会  
北部公園にて
- ☆7月7日(火) 青少年健全育成会議  
公民館 2Fホール

- ☆7月10日(金) 健康講座  
「くすりと薬草の利用法」
- ☆7月11日(土) 螢観賞  
湯涌方面
- ☆7月26日(日) 男性料理教室  
公民館 10:00  
詳細は回覧にて

1998年  
8月号

No.304



発行 瓢箪町公民館  
金沢市彦三町2丁目10-5  
TEL 221-1476番  
FAX 221-1476番  
TEL 223-0715番  
編集 公民館広報部

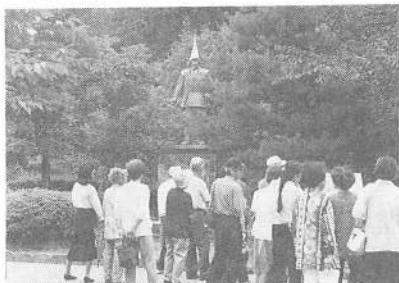
## 青少年を温かく見守ろう

青少年健全育成会議では、学校が夏休みに入り夏季のレジャーを迎えるこの時期青少年の非行化防止の一環として7月7日、地域団体役員30余名の出席をいただき、金沢東警察署今井地域安全対策官より「青少年の非行化の現状」についての説明があり身近な問題として、これからは地域の方々の協力を得て、明るい町とするため各種行事のなかでこの問題と取組むことしました。

## 歴史散歩

6月28日(日)、昨夜来からのぐずついた梅雨の晴れ間をぬって、金沢城址をめぐる歴史散歩が行われました。ボランティアガイド「まいどさん金沢」のお2人により、2グループに別れて、金沢城、石川門(裏門)の城壁の石組みの方法、大火にあった三十間長屋など、57名の参加者は、ガイドさんの詳しい説明を熱心に聞き入っていました。城内では、今、城址公園整備の工事が着々と行われており、平成13年までに菱櫓(ひしやぐら)、三十間長屋、橋爪門続櫓などが復元される予定です。

近くに住みながら始めて散策する所ばかりでふるさと再発見でした。



## グランドゴルフ大会

瓢箪町公民館・此花町公民館の交流事業であるG・G大会は7月5日(日)県北部公園にて開催されました。降り続いた雨も止み予想以上の天候に恵まれ、24チーム130余名の参加により3ゲーム行なわれました。参加者も年々多く、技術も上達し、ホールインワンが多発し、賞品を急遽追加するハプニングがありました。彦三郵便局に支援して頂きありがとうございました。

成績は次の通りです。

団体1位 塩屋下Aチーム

渋谷、東、戸出、諸江(泰)、諸江(紀)

2位 あげば会

米田、中西、村井(鉄)、山本、村井(紀)

3位 彦三・7

田中、吉村(宏)、安江、中山、竹田

個人男子 女子

1位 北 邦夫(五宝上) 1位 岡田美智子(五宝中2)

2位 寺林 昭彦(堀川間の町) 2位 細川 和美(彦三・7)

3位 戸出 英之(塩屋下) 3位 中山 厚子(彦三・7)

4位 諸江 敏博(笠市町) 4位 音頭栄美子(彦三・7)

5位 滝田 聰(岩根西) 5位 村井紀美子(あげば会)

## 8月・9月の行事日程

☆8月1日(土) 一斉ラジオ体操

午前6時30分 明成小学校グラウンド

☆8月30日(土) 防災訓練

明成小学校グラウンド

☆9月13日(日) 日帰りバス旅行

富山方面 受付9月1日より

募集人員43名 定員になり次第〆切ります。

## 瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

### 19. 瓢箪地区に架かる橋

#### (1) 小 橋

川や堀は軍事上重要な役割を担っていたため、江戸中期まで橋の数は極めて少なかった。北国街道の南口は犀川大橋で、北口の浅野川大橋（別名とどろき橋）とむすばれていたが、浅野川にはもう一つの小橋があり、この三つの橋（三つ橋と呼ぶ）以外に浅野川、犀川に架かる橋はなかったのである。瓢箪地区にある小橋は、北国街道北口のバイパス的な役割として軍事上重要な橋であった。

正確な架橋時期は不明であるが石川郷土史学会の資料では、はじめこの周辺の者が、縄をからげて棚橋を作っていたといわれ、寛文7年（1667）に幅2間の橋があったと書かれている。延宝金沢図（1673～1680）にも描かれ、金沢では最も古い橋の一つである。亀の尾の記には「大橋より下4町ばかりにあり、橋詰に三千石前田氏邸並に下屋敷があり、此の辺りを俗に小橋と云う町名とする。前田氏の門前には蝙蝠がいて往来する人を悩ませた」と記されている。また彦三台地には、伴八矢（五千石）が小橋の鎮として城塞のような屋敷を構えていた。明治初期、小橋は長さ20間（36メートル）、幅2間（3.6メートル）の木橋であったと記されている。（石川県資料）

寛文元年（1661）から町会所の所管となり、重要な橋には橋番を置いた。文化8年（1811）の資料では、小橋に4名の橋番が配置されている。（城下町金沢 田中善男著）

## 楽しく参加出来る「健康講座」

7月10日（金）午後7時30分より公民館2Fホールで、堀川町、田中薬局の田中千隼先生をお招きして、「手近な薬草の利用法」の講演がありました。わかりやすく、誰でもが直ぐ間に合う身体の為になるお話しで集った皆さんは、うなづきながら楽しく聞き入っていました。

## ブロック

### 『バドミントン大会』開催

6月21日（日）中央小学校にて開催されました。9チーム参加し見事3位入賞されました。

## ブロック

### 『役職員研修会』開催

7月9日（木）芳斎公民館にて公民館役職員50余名の参加により平成12年度より施行される『介護保険制度』についての勉強会でした。誰しもが直面する問題で参加者皆さん真剣に取り組んでいました。

## 第2回

### 『女性学級』開催

7月2日（木）加賀ガラス美術館・箔巧芸館見学など、多数の参加者で開催致しました。

世界のガラスを一同に集め展示されています。また、箔巧芸館で昼食を頂き、第3回の学級についての話合いなどし、優雅な気分で帰路いたしました。今後の学級開催時に学級生以外の方の参加もお待ちしております。館報にご案内いたします。



## 歩こう会の精勤賞

毎月第一日曜日行なっている、朗らかに元気で散歩している皆さんの中から次の方が、平成9年度、谷本知事から表彰されました。

健歩賞 浅井 礼子（横安江町）

銀 賞 中江 君子（横安江町）

銅 賞 山崎 みよ（岩根町西）

1998年  
9月号

No.305

# 公民館だより

# ひょうたん

発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 221-1476番

FAX 221-1476番

TEL 223-0715番

編集 公民館広報部



やわらかく煮えたかな~



さあー！ いただきま～す

## 男の料理教室へ参加して

藤沢 重雄

“男子厨房へ入らず”の教育と躰を受けた吾々大正生まれは、時代の変遷と共に嫌悪なしに、自分の食べる料理位は自分で作ることが出来なくてはこの新時代に生きてゆけない。

町連主催のこの料理教室へ参加して、つくづくその有難味（主催者側への感謝の気持ちと共に女房の日頃の苦労）が身に沁みて分かりました。特に今日の料理教室で修得出来た事柄は、

1. 胡瓜をトントントンとリズミカルに包丁の手捌きが見事なを見て、やってみたが仲々上手に出来ない。恐る恐る指を切らぬかと心配しながら一切一切やっと切った。左手中指の背と包丁との接し方にコツがあるのが判り楽しくなった。
1. そうめんの茹る方法でも大発見があった。素麺の束を煮え湯へその儘放り込んで搔き廻していたがダンゴが出来てしまった。パラパラと広げてまく様に入れるべきか。
1. 料理はやはり手をかけた細かな心遣いと苦労の結果が美味に繋がると云う事がよく分かる。

今まで出来上がった料理を当り前に食べていたが、自分が額に汗して作った料理は味わい深く美味しい感激であった。

瓢箪校下は高齢者が多い上に、中には一人暮らしの男性も多いと思われるが、是非にこの様な催し物に参加され、美味しい料理を作って人生を大いに楽しんで元気にならん。

## 瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

## 19. 瓢箪地区に架かる橋

## (2) 一文橋

瓢箪地区より浅野川に架かる橋として、小橋の外に中の橋、昌永橋、中島橋がある。これらの橋はすべて幕末から明治初期にかけて、仮橋として民間人の手によって架けられた私設橋であり当然有料橋であった。

中の橋について、石川郷土史学会北島俊朗氏の調査資料では、天保年間（1830～1843）酒井平一が私設の橋を経営し、別名一文橋と呼んだとある。明治42年9月に市費で新たに架設されて無料橋となった。

昌永橋についても『龜の尾の記』で一文橋と呼んでいる。この著者は弘化4年（1847）に没しているので、幕末の頃には貧弱でも橋らしいものがあったと考えられる。『金沢市史』では明治33年8月私費で架設し、翌年4月市費に組込まれたと記されている。

中島橋は明治23年5月に初めて架設したと『金沢市史』に書かれている。

明治初年新政府によって調査した『石川県史資料』では 浅野川中ノ假橋（中の橋）長さ20間3尺、巾1間 木橋

浅野川下ノ假橋（昌永橋）長さ22間、巾1間 木橋

堀川上ノ假橋（中島橋）長さ17間、巾1間 木橋

など假橋として記録されていることから、私設の桟橋がすでに幕末の頃から明治初期にかけてあったものと考えられ、明治中期以後市費に組込まれ本格的に架設されたものである。

## 利賀国際キャンプ村にて

少連主催のキャンプが富山県利賀国際キャンプ場にて8月15・16日瓢箪、此花合同で行なわれました。

230余名が参加され、キャンプ村では大工教室・箔押し教室・竹工作教室に分かれ、各自思い思いの作品に挑戦しました。お父さん、お母さんも参加され、日頃子供達と出来ない親子のふれあいができ、また竹工作を使って流しソーメンを冷たい名水で頂けた想いは子供達は一生忘れないでしょう。

夜おそくまで「ワイワイ・キャッキャッ」と和気相々と楽しい親と子のコミュニケーションを取る良い機会でした。



少連主催キャンプ 「流しソーメン」 冷たくておいしかったよ！

## ~~~~~ 9月の行事日程 ~~~~

### ※ 第3回 女性学級

講演 『男女共同参画について』

講師 土橋 登志子氏

会場 瓢箪町公民館

### ※ 日帰りバス研修会

日時 9月13日(日) 午前7時40分 集合

行先 富山(魚津方面)回覧済み

会費 5,000円

定員 43名 定員になり次第締め切ります。

申込受付 9月1日より 会費を添えて  
電話では受け付けません。

### ※ 獅子まい披露

日時 9月15日(祭) 午前8時 八幡参拝

地域一円 練り歩きます。

ご支援をよろしく。

### ※ 市クリーンセンター施設見学(町連主)

日時 9月18日(金) 午前9時 出発

行先 東部クリーンセンター

戸室新保埋立場など

ゴミ分別・収集の大切さをいま一度考えよう。

乗り物 大型バス 40名で締め切ります。  
昼食 用意いたします。

1998年

10月号

No.306



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 221-1476番

FAX 221-1476番

TEL 223-0715番

編集 公民館広報部

## 瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

19 瓢箪地区に架かる橋

(3) 西内惣構堀の橋

○狐橋

主計町と母衣町の境にある橋で、緑水苑の水が浅野川へ流れ込む内惣構堀の終着点に架かる橋が狐橋である。

緑水苑の崖上の辺りは、江戸初期、富田流の剣聖富田主計、後に西尾隼人(4,300石)の広大な屋敷があった。現在はNTT病院と久保市神社があるが、今でもこの辺りは深閑として往時の面影が偲ばれる地域である。昔、狐がいたことから狐橋と呼ぶようになったといわれている。

○勘解由橋

旧彦三一番丁の野坂家前より新町へ上がる地点で、西内惣構堀に架かっていたのが勘解由橋である。現在は坂の道路下に溝が埋まっているだろうが、橋跡はあとかたもない。

小橋の前田監物屋敷に寛永年間から万治元年(1624~1658)の頃、人持組森川勘解由と言う重臣が住んでいて、登城の折はこの橋を渡ったことから呼ばれた名称である。後に別名新町橋とも呼んだ。

○惣構橋

尾張町2丁目6番の栄輪社前の坂道になっている所にあって、長さ5間4尺(10.12メートル)の橋が西内惣構堀に架かっていたのが惣構橋である。

今は橋跡を見ることはできないが、江戸時代は北国街道であった。現在の武蔵ヶ辻より市姫神社前から博労町角の福井銀行尾張町支店迄の道は、明治時代になってからの新道であり、藩

政期の北国街道はダイエー裏の旧袋町、丸善スポーツ店前を右に折れ、尾張町本通り(国道159号線)を左に折れ、橋場町に至るのである。この橋は北国街道の重要な橋であったので、元禄元年4名の橋番を配置している。後に袋町橋と呼んだ。

## 大岩山・魚津埋没林

公民館恒例の日帰りバス研修が9月13日(日)行われました。去年までは、回覧を見て参加者申込み受け付けを致しましたが、今年は回覧期間を設けまして、一斉受付日を決め参加者を募りましたが、9月1日朝10時半で定員10名オーバーでした。

大岩山・日石寺の108段(実段200)を登りつめると奥行き17m、高さ13mの不動明王が岩壁間に刻まれています。今から400年程まえに焼失に遭っていたが、前田利常時代に再建し、永年の祈願所としています。裏山から流れる名水を飲用すると10才若返るといわれ、ペットボトルに入れ持ち帰る人もいました。

滑川ホタルミュージアム見学後、宇奈月地麦酒館で食事をとり尾崎のかまぼこ工場を見学、皆それぞれの家族へのお土産を両手一杯かかえ楽しい旅を終えました。

## 獅子舞い練り歩く

9月15日(祝)午前8時より八幡宮で舞を奉納し、校下一円を練り歩きました。

途中何回か雨に降られましたが、演技者、役員共最後までがんばり瓢箪の古い伝統芸能を受け継ぎ、元気一杯披露しました。風邪をひかないかと心配しましたが、声援、ご協力下さった皆様紙面をおかりしてお礼を申し上げます。

## ！すばらしかった敬老会！

瓢箪地区社会福祉協議会主催の今年の敬老会は、秋冷の9月5日(土)昨年新築になった明成小学校体育館で午後1時から行われました。

ここ近年「ルネスかなざわ」で行っていたのですが、どうしても新校舎を一度見てみたいものだというお年寄りの気持ちからか、115名の大ぜいの参加で、それは盛大なものになりました。

その皆さんにせい一杯楽しんで貰おうと、可愛らしい「瓢箪町保育園」の園児の遊戯、モダンな「川内幾子バレエスタジオ」の豆バレリーナのすばらしい演技、明成小学校ご自慢の5、6年生全員による迫力ある「鼓笛隊」の演奏、圧巻は校下有志の「民謡の唄と踊り」の見事なだしもの等、あっという間の2時間の真心こもった楽しい敬老会でした。

ここに紙上をお借りして関係各位のご協力と明成小学校当局、先生方のご支援に心から厚くお礼を申し上げます。



## 「環境施設」見学

9月18日(金)9時30分より42名の参加で市環境施設見学を開催致しました。

東部クリーンセンターで市職員から機械の稼働状況など説明があり、余熱で隣りにある市営プールを来年から営業開始し、また、北陸電力へ電気を売り一般家庭に廻っている事など、1時間余りの見学でしたが、少しあは知識向上になったと思います。

また、戸室埋立地の広さ、締切堤、土堰堤、防水シート、飛散防止フェンスなど、色々な施設が重なって埋立地が稼働している事など、これからはゴミの分別を良く見極めて出すようにしなければと車中で話し合い良い体験学習が出来ました。

### ~~~~~ 11月行事日程 ~~~~

#### ☆文化祭

10月31日(土) 作品展示

11月1日(日) バザー(予定)

#### ☆葬祭講座

11月11日(水)

詳細は回覧にて

### \* 文化祭の作品募集中 \*

陶芸、書道、絵画、手づくり作品など  
10月26日、27日、28日受付、30日設置  
どなたでもご応募ください。

1998年  
11月号

No.307



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 221-1476番

FAX 221-1476番

TEL 223-0715番

編集 公民館広報部

スポーツの秋

## 第23回「社会体育大会」



体をほぐして ラジオ体操



じれったい～ パン喰い競争



もう一息だ 町対抗リレー

すがすがしい秋空となった10月4日(日)瓢箪町校下社会体育大会は、明成小学校グラウンドにて行なわれました。

今回初めての試み「やさしく・落とさないで」の竹棒と毛布を使った応急担架競争・恒例になっている「デカパンリレー・借物競争」など……。

悪戦苦闘し、約1,500人の参加者はここち良い汗を流した一日でした。

成績は次の通りです。

総合優勝 彦三・4

町対抗リレー優勝 五宝中1

二位 彦三・5上

二位 彦三・4

三位 あげば会

三位 彦三・5上

## ／輝く表彰 塩屋町中町会！

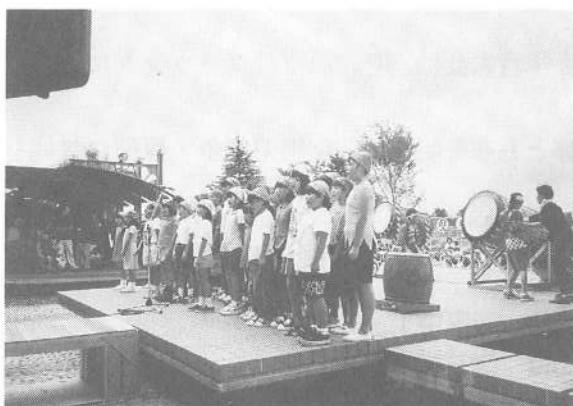
去る9月26日(土)、金沢市文化ホールで、平成10年度、環境衛生週間優良資源回収ステーション表彰会で、見事塩屋町中町会が山出市長より表彰されました。平素町内会一丸となって、ステーション制度の意義を理解し万全の努力をされた結晶だと思います。おめでとうございました。



**10月4日(日) 金沢市民芸術村にて、児童館フェスティバルが行われた**

オープニングでは、お祝い太鼓や、バトンの演技、各館代表の開会宣言もあって、それは見事なものだった。

生憎、瓢箪地区の社会体育大会と重なったため、明成の子の参加は少なかったものの、3,000人の人出があった。来年は日が重ならないことを祈りたいです。



## <晴れの個人受賞者>

平成10年度金沢市町会連合会大会が10月4日(日)、金沢市観光会館で開かれたその席上次の方々が多年にわたり町会連合会、或いは単一町会の町会長、及び副会長、又は会計としてその責務を全うされたご努力が報われまして、市長表彰に今井義明氏(笠市町)、市長感謝状に吉田辰男氏(岩根町西)、連合町会長表彰に大丸勝雄氏(五宝町中1)、西川渡氏(古餌指町)、会長感謝状に川端豊治氏(彦三2下)、越村勉氏(五宝町中2)がそれぞれ受賞されました。おめでとうございました。

## ――11月行事日程――

### ※公民館委員研修会

日 時 11月8日(日)

行 き 先 小松方面

### ※冠婚葬祭講座

日 時 11月11日(水)

午 後 7時より

会 場 瓢箪町公民館

議 題 葬について

マナーについて

どなたでも多数参加下さい

講 師 越村法輪館 専務

### ※中国語講座

日 時 11月17日(火)

会 場 北特会館『松扇』

彦三1-9-24

会 費 ¥2,000 軽食付く

どなたでもご参加下さい

申込み 公民館 221-1476

締切り 11月10日(火)まで

1999年

1月号

No.309



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 221-1476番

FAX 221-1476番

TEL 223-0715番

編集 公民館広報部

## 生涯学習の推進の拠点

公民館長 小原 英一

平成11年の輝かしい新春を迎えるにあたり、皆様のご清福を、お祈り申し上げます。

なお昨年は、公民館事業に対しひととかたならぬご協力とご指導をいただき誠にありがとうございました。本年もどうかよろしくお願ひ申し上げます。

今年は公民館設立50周年と記念すべき年になりますので、心ふれあう生きがいのある多様な生涯学習の機会を地域の方々と共に自主的、自発的な学習活動を生み出すよう一層の努力をします。

昨年は、待ちに待った社会体育大会が皆様のご支援により多数の参加をもって開催されました。スポーツは誰でも参加出来る内容のものでなければならないを信念に、スポーツ活動による地域の活性化を図りたいと考えています。

公民館事業もますます多様化して参ります。豊かな生涯学習社会の実現と地域づくりのための関係機関、各種団体との連携を密にし事業を推進いたしますので、皆様のご支援を賜りますようよろしくお願ひ申し上げまして新年のご挨拶といたします。

## より良い街づくりにあなたの知恵を

町会連合会長 今井 義明

謹んで年の始めの御祝詞を申し上げます。

二十一世紀を目前にして皆様方には心新たにお健やかに初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、社会、政治、経済面でそれぞれ嫌なニュースばかりが目立った年ではなかったかと思います。幸い瓢箪地区は、金沢市中心部活性化事業の一端として横安江町商店街への人の流れを創出するため「安江北」交差点が修景整備され、その歩道空間は通行される人々の心にやすらぎを与えてくれました。

本年三月頃からは「コミュニティバス」が笠市、此花ルートに運行され周辺のにぎわいが期待されます。また、平成12年夏頃には「中央公民館彦三館」がオープンされる等、当地区を取巻く住環境は二十一世紀に向けて地域住民に新たな夢と希望を与えてくれるものと確信します。

昨今、私達が社会生活を営む上に於いて最も高い関心時の一つに高齢化社会の中での福祉、介護等の問題、生活環境を含むゴミ問題等、今後は地域住民が一体となりより一層互いに助け合い知恵を出し合い広く交流を図りながら、明るく、美しく、安心して住める良い街づくりに皆様方と共に歩んで行きたいと思います。

年頭に当たり皆様方の御多幸を祈念いたしますと共に格段のお力添えをいただきますよう懇願申し上げまして新年のご挨拶といたします。

頌

春

町会文化連合会館長	今井 義明	明成小学校育友会	大友 哲
公民館長	小原 英一	防犯交通委員会長	中島 光春
児童館長	大村 昭男	少年連盟育成委員長	西川 寛道
社会福祉協議会長	中村 正一	街頭交通推進隊長	三上 正道
老人憩いの家室長	田中 良	遺族会長	盛永 寛
明成小学校長	戸田 教一	身体障害福祉協議会長	沖 茂男
消防分団長	宮岸 敬治	東部鶴亀会長	宮田 みよ子
民生委員(児童)総務	涌波 秀博	南部鶴亀会長	藤田 太久治
		西部鶴亀会長	笛木 良

## ボーリング大会

いよいよ今年も師走に入り、例年のごとく何かと気ぜわしい時期になりました。

さて、12月といえば、今年も恒例のボーリング大会が、去る6日(日)に行われました。場所は、西泉のジャンボボールで、朝8時にスタート。

老いも若きも、ボールを投げ合って、この不景氣風?を吹きとばし、親子で兄弟で、そして隣近所のグループ等がストライクに溝掃除に一喜一憂。いつもながらの熱気ムンムンの2時間でした。

成績は下記のとおりです。



全員集合

## 団体

## 優勝

彦三・7 土橋・中山・吉村弟・徳田

## 2位

彦三・4 A 西川和・朝倉・徳川登・中島勝

## 3位

あげば会 渡部嗣・渡部晃・米田・野口

	男子	女子	子供
個人優勝	中山 孝 (彦三・7)	諸江 泰子 (笠市・B)	西川 晃司 (彦三・4)
2位	新家 陽一 (彦三・3)	野口いづみ (あげば会)	松本 直也 (彦三・5上)
3位	渡部 晃市 (あげば会)	滝田美江子 (岩根西)	徳川龍太郎 (彦三・4)
4位	塩本 芳久 (笠市・A)	熊田 洋子 (笠市・B)	松本 卓也 (彦三・5上)
5位	吉田 辰男 (岩根西)	塩本由起子 (笠市・A)	中島けんたろう (彦三・4)

おめでとうございました。

## 成 人 お め で と う

町会名	氏名	町会名	氏名	町会名	氏名
母衣町	井上 正吾	彦三五番丁中	示野 剛晴	五宝町上	村井 有紀
南睦会	山崎 揚子	彦三五番丁下	吉田沙緒里		舟元 佑介
	黒田 弥生	彦三七番丁	徳田由希子	五宝町下	片山 裕美
	吉田 和隆	彦三八番丁	高橋裕佳里	塩屋町上	岡村 憲英
	蚊谷 大輔		谷 康則		越守 美穂
	松永 典子	横安江町	山田 晃輔	塩屋町中	飯田 耕祐
	益成兼太郎		所村さやか		桜田みどり
北親会	田村夕希子		任田 由布	塩屋町下	浦井 亮司
	山口喜世恵		宮本 正徳		西嶋 真一
彦三二番丁上	日下 星子		高橋由佳里	岩根町東	松原 孝祐
彦三二番丁下	東 晃		西川真理子	岩根町西	田中 規子
	村中 誠	笠市町	笹木 桂太	岩根町下一	庄堂 美輪
	中村 善史		大林亜希子		東崎 伸吾
	杉原 岳		北風 雅世		沢井 静香
	中砂 貴雄		熊田 敬子	あげば会	森田 徳悟
彦三三番丁	山岸ひろみ		辻 敏子	校 下外	今井 美希
	新家 陽一	巴 町	安江 里香		吉田 理恵
	河合 信也	象眼上	早頭 純子		志村香代子
	梅田 貴子		前田 千夏		柴木 徳之
	木下 拓史	象眼下	大友 和典		福島 裕美
彦三四番丁	永井 昭子		石松 聖也		武部 秀人
	高木麻千子	堀川間ノ町	池田 幸二		越村 武史
彦三五番丁上	池田 智彦	古餌指町	安江 明佳		
	高桑 夕佳	五宝町上	北 怜奈		

1月15日（祝） 10時30分に開式いたします。

父兄の方の式典席もご用意しておりますのでご出席下さい。

## 共同募金に対するお礼

社会福祉協議会長 中村 正一

輝かしい年明けを心よりお慶び申し上げます。日頃から地域の福祉事業に格別のご理解ご協力を賜っており厚くお礼申し上げます。特に、昨年末には地域に還元される募金に対して格段のご協力を賜りましたことについて深く感謝申し上げます。

近時の福祉事業は、平成12年4月から実施されます介護保険制度をはじめ地域の福祉活動の拠点づくり等々多岐にわたっており、昨年発足いたしました「瓢箪ボランティアの会」を中心とした幅広い活動が今後の重点事業となるものと考えております。

どうか今年も地域福祉の充実に向けて努力してまいる所存でございますので地域の皆様方にはこれまで以上のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げて新年のご挨拶といたします。

## 新年にあたりおねがい

金沢市立瓢箪児童館長 大村 昭男

新しい年を迎え、瓢箪地区の皆様にはご健勝のこととよろこび申し上げます。児童館の運営に地域の多くの方々のご理解ご協力を得て、無事行事が遂行されて来ましたことをここに感謝申し上げます。

毎年秋恒例の全市の児童館フェスティバルが今年度は金沢市民芸術村で盛大に行われました。手作りおもちゃ村・忍者村・音楽村・食べ物いいね村などにぎやかな広い会場へ市内全域から数千人の子供達が集まり、楽しい一日を過していました。ただこの日は明成小運動場での社会体育大会と重なりましたので、残念ながら当地区の児童は参加出来ませんでした。金沢市児童館連絡協議会やこども福祉課では、次年度から毎年10月第一日曜日に市民芸術村でフェスティバル開催と決定したようですので、今後の事を考えると地区での行事日程を子供達に合わせてご配慮いただければ、との紙面を借りてお願い申し上げます。

## 老いを悲観せず

老人憩の家室長 田中 良

謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年は老人憩の家の事業運営に特別のお力添えを賜り厚くお礼申し上げます。さて誰もが健康で長生きしたいのがあらゆる人々の願望であります。

半面世界一のスピードで進む高齢化には不安もつきまとう少子化と相まって日本の国力・経済力が衰退するのではないか、年金や医療保険制度が破綻するのではないか、福祉のレベルが低下して安心して老後を過ごせないのではないか、その様な不安がいまの不況や社会の閉塞感の根底にあるように思います。

しかし、今日では長命であるだけでなく健でなくてはならない私達が、自分で自分を支えること、病気になってからの手厚い医療より、病気をよせつけないことが大事ではないでしょうか。平成12年度から導入される介護保険制度、老いを支える公的なシステムも徐々に広がっています。

公的支援はありがたい事だと思います。

皆様には向寒の折健康には充分ご注意され、そして高齢者相互支援や友愛精神の発揚など、活力ある明るく住みよい健康的な長寿社会を築いて行こうではありませんか。

本年も暖かい御支援を賜りますよう祈念して新年のごあいさつといたします。

## 跳べ 明成っ子!!

明成小学校長 戸田 教一

謹んで卯年の春をお慶び申し上げます。

昨年は、開校4年目を向かえ、明成大バレーなど地域と連携した活動、ロシアやアメリカなどの方々をお迎えした国際交流活動、文部省の角屋調査官に来ていただき全国の先生方と21世紀の学校教育の在り方を研究した第4回公開授業研究会など充実した一年を過ごすことができました。

そして、これまでの成果をまとめた論文が全国249校の応募校の中から第43回ソニー教育資金贈呈校優良校に選ばれました。子どもたちと教職員、保護者、地域の方々が共に創り上げる教育活動が認められたものと喜んでおります。「生きる力」は、「地域に生きる力」であり、「未来に生きる力」でなければならないと考えています。本年も「明成っ子」の更なる飛躍のためにご支援を賜りますようお願いし、新年のご挨拶といたします。

1999年  
2月号

No.310



発行 瓢箪町公民館  
金沢市彦三町2丁目10-5  
TEL 221-1476番  
FAX 221-1476番  
TEL 223-0715番  
編集 公民館広報部

## 祝 成 人 式



全員集合



誓いの言葉  
「永井昭子さん」



動儀  
「池田智彦さん」

99.01.15

瓢箪町公民館主催成人式は1月15日スカイホテルにて新成人50名、来賓・役員25名が参加し開催されました。「金沢市のキーワードとして福祉・環境・教育に取り組み皆様の理解と協力が必要です」と市長の代読をされ、また「良き日を迎えたこと、幸せをかみしめ良識ある社会人になります」と成人代表永井昭子さんの言葉、池田智彦さんの動議が宣言され式典を終えました。

「20歳の私」と小学6年生の時に書いた作文を恩師が披露され、新成人者は学生気分に戻り和気あいあいと楽しい一時を過ごされました。

## 瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

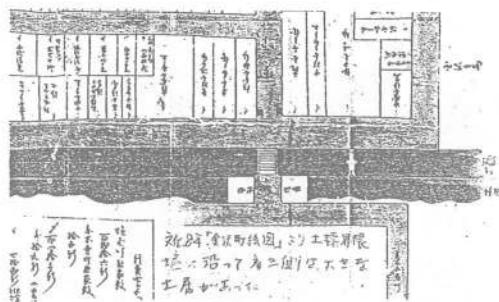
### 19. 瓢箪地区に架かる橋

#### (4) 西外惣構堀の橋

##### ・土橋（塩屋町橋）

瓢箪町22番8号（山崎さん方）と駐車場の間の小路に架かっていた橋が土橋である。

江戸時代、惣構堀に架かる橋で土橋と呼ばれた橋が随所にある。文化8年の『金沢町絵図』によると、この橋の構造は、土盛の部分と木橋の部分とで構成されているようである。



明治初期の『石川県史料』では、橋の長さ1間3尺5寸(2.28メートル)、巾1間1尺5寸(2.13メートル)、構造は石造と記されている。江戸時代は、惣構堀の重要な土橋であった。

江戸時代後半より徐々に堀を埋め立て、明治初年には土居も崩し、民間に払い下げられたため、往時の土橋の姿はすでに失われていたのである。少なくとも土橋と言われた江戸時代、橋の長さは、かなりあったものと思われる。

元禄元年(1688)の記録では、橋の両側に1軒ずつ番小屋があり、2名の橋番が配置されている。重要な橋の一つであったことがうかがわれる。

## 「児童館の鏡びらき」

1月13日鏡びらきをしました。午前中は、瓢箪地区ボランティア委員の方々も加わって、かんがるー教室の親子が羽根つきならぬ風船つきや、福笑いなどのお正月あそびをしたあとぜんざいをいただき無病息災を願いました。

また正午からは小学生の鏡びらきをし、おかげおかわりでアッというまにお鍋が空っぽになる盛況ぶりでした。

※かんがるー教室は2歳児親子の教室で11年度は5月より開講の予定です。たくさんの方の参加をお待ちしております。

詳しくは児童館までお問合せ下さい。

TEL 221-1518



## 2月行事日程

### ◎2月7日(日) マージャン大会

会 場 公民館2Fホール

会 費 1,500円

### ◎2月14日(日) 立志のつどい

会 場 明成小学校

参 加 者 中学2年生

受付時間 9時15分より

式典開始 9時30分

平服にて参加

### 公民館フェア “楽集” 会場 金沢市文化ホール

2月21日(日) 式典・表彰式 お茶席 芸能フェスティバル

- 式典・表彰式

午前10時～午前11時 大ホール

- お茶席 午前11時～午後3時

文化ホール茶室「閑清庵」お茶券300円

- 中央公民館50周年記念講演会

午前11時～12時30分

講演者 見城美枝子氏

演題 「出会いをすてきにするために」

- 芸能フェスティバル 午後1時15分開演

ゲスト出演 1団体 野々市じょんから節保存会

民舞 瓢箪町公民館・民謡グループ

入場券 公民館にあります。

1999年

3月号

No.311



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 221-1476番

FAX 221-1476番

TEL 223-0715番

編集 公民館広報部

## 瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

### 19. 瓢箪地区に架かる橋

#### (5) 稲荷川の橋

##### ・熊坂橋

東別院内金沢幼稚園裏の西外惣構堀より分水し、旧象眼町と旧巴町の町境を流れる稲荷川の入口に架かっていたのが熊坂橋である。この橋は、現在の安江北交差点より東別院西門へ行く道路に架かっていたが、道幅を拡張したため、現在は道路下を暗渠となって流れている。

江戸期の文化8年、中村屋甚九郎と言う橋番が1名配置されていた。明治初年、橋は長さ2間、巾2間の木橋であった。(石川県史料)

『亀の尾の記』の熊坂橋の項に、「番所の所に熊坂と異名する男達がいたことから、熊坂橋と名付けられ、此の熊坂の家に弘法大師が宿したので、蚊がないと言う伝説があり、試した所、外よりも蚊が多くいた」と記されている。

また、昔全国股にかけた大泥棒熊坂長範がいたので、熊坂橋と呼ぶようになったと言う説もある。

江戸時代の著名な俳人、堀麦水の著書『越のしら波』によれば、長範は大聖寺の熊坂に生まれ、70余人の手下をもつ盗賊の首領として威名を天下に轟かせた。一説には牛若丸が金賣吉次に伴われて奥羽藤原家へ逃避した時、中山道赤坂の宿に泊まった夜、一行の荷を盗もうと忍び込んだ盗賊、熊坂長範を忽ちに打ち取ったと言う伝承がある。その頃の大盗賊の威名高き長範を利用し義経の名を天下に示そうとしたものであろうと書かれている。(堀麦水の遠山墳が瓢箪町西勝寺にある)

この天下の盗賊、熊坂長範は、全国に情報活動と営業拠点を作り、手下を配置したものと思われ、熊坂橋の伝承も満更根拠のない話ではない。

## 「立志のつどい」

瓢箪町公民館・此花町公民館・両館主催の「立志の集い」は2月14日、卒業の学び舎の明成小学校で開催され、53名が出席しました。「立志の集い」には明成小学校の戸田校長、市川教頭、小将町中学校の泉屋校長のほか、恩師の上野先生、鈴木先生が出席し、参加者は恩師らと語りあい、出席をした父母や公民館委員が節目を祝い、小将町中の泉屋校長が「地域の人が温かく見守っています。将来、志を立てたこの日を思い出してほしい」とお祝いの言葉を述べ、出席者を代表して小将町中2年の不破聖未さんが「自分自身を見つめ誇りと自覚を持ち頑張りたいと思います」とお礼の言葉を述べました。

又明成小が新校舎になり、初の卒業生として北陸放送に出演したビデオを見ながら、当時のあどけない表情や言動に出席者は爆笑すると同時に作曲・作詞が著名な「さだ・まさし」の明成小校歌に思い出も又ひとしおであったことでしょう。「立志を迎えた若人に更に逞しく成長する事を祈念しております。松井総務部長」



泉屋校長のあいさつ

## 「マージャン大会」

校下マージャン大会は2月7日(日)午前10時より16名参加によって行なわれました。

1回戦、2回戦とも抽選によって対戦卓を決め、3回戦は成績順によって卓を決めるため、初め良い成績で上がっても3回戦でどんでん返しになるハプニングで最後まで結果がわからずハラハラドキドキの大会でした。

参加者は卓を囲んで対戦相手や久しぶりに会う人達と親睦を深められました。

成績は次の通りです。

- 1位 西村美樹彦(巴町) 59,800点
- 2位 細川 清武(五宝中1) 29,400点
- 3位 桶 良之助(塩屋中) 21,300点



満パイは出ないかな？

## 若竹句会

初夢や流星群に跨がりて  
寒梅の咲き初む朝を嫁してゆき  
白鳥が羽を休める日射しかな  
雪うさぎてふ菓子を盛り初句会  
白山の麓に響く初神楽  
どんど焼小さな村に大きな火  
大蛸の縄にくくられ暮の市  
寄せ植の梅ほころびて父逝きぬ  
合鹿椀金箔入りの雑煮かな  
風花や提げ替えられし大草鞋  
着ぶくれて回転ドアを肩であけ  
初鏡シャネルの口紅うすくぬり  
冬菊や夫の柩に手擦れ医書  
下萌えの一筋径や弁碑

谷渡	末枝
上田	まゆみ
小倉	末子
音頭	菊枝
豊田	高子
橋本	芳子
松本	久美好

## 新会員募集

竹内	浅井	西田	元	疋田
久子	礼子	鈴子	淑子	登美子

## 3月の行事日程

☆3月7日 町対抗ソフトバレー大会

会場 明成小体育館 時間 9時試合開始

1チーム 4人編成

1町会2チームまで参加出来ます

予選リーグ 決勝トーナメント方式

球がやわらかく誰でも気軽に出来るスポーツです。日頃の運動不足・ストレスを発散し、体力の向上を高めましょう!!